

第1回 児童健全育成関係分科会（議事録）

日時：平成26年4月22日（火）19時～21時

場所：佐世保市中央保健福祉センター6階

質問・意見等	事務局回答・今後の方針など
児童クラブの指導員数・雇用条件について	
指導員の雇用条件が悪い。内容を何とかできないのかと非常に感じている。できれば男女誰でも指導員として入っていけるような雇用条件があれば良い。	児童クラブの運営は、国・県・市が各1/3、さらに利用者が利用料を負担して運営。指導員の雇用条件について具体的に示されていないので、そこに焦点を当てての対応は難しいと考えている。ただ、児童クラブからの意見として出ていることは把握しているので、今後、国の制度がどうなるのか動きを見ていきたい。
学童クラブの指導員数についての規定はあるのか。	指導者数は複数であることが望ましいとしている。36名以上については指導員2名以上をお願いしている。当初は70名を超える施設もあり、その場合は指導員3名程度が必要と市の指導としては行っている。
児童クラブの委託料について	
36名～45名の委託料が最も高く、それ以上になると委託料が減少する。人数が増えれば指導員を増やさなければならないのに委託料が減少するのは矛盾している。今後の検討課題では。	指導者の資格は絶対ではないが、一定の質を担保することは必要であり、国も新制度の中で検討していると考え。市の独自の対応については地域の実情にあわせ市で判断していきたい。
運営にあたって指導員に資格を求められるようになってきている。この場合、有資格者にはある程度の給与面等の保証が必要であるが、現在の委託料制度には課題がある。	
障がいを持つ子どもの受入について	
障がいを持つ子どもたちが5人以上入ると、児童数が36名の場合は、通常の指導員2人と更に2名加配が望ましいということで、4名で運営するという理解でよいのか。	県の加算補助は、通常の3名の指導員と更に2名の加配が必要だが、国の補助金では、1クラブに1名でも障がい児が在籍すれば指導員を1人加配となっており、一定の資格・研修などを受けた指導員の加配となり、委託料も加算される。

質問・意見等	事務局回答・今後の方針など
児童クラブの施設について	
<p>発達障がいも含め様々な子どもが増加している状況では狭いところに詰め込むのではなく、分割をして子どもたちを守っていくことを方向として持ってほしい。</p>	<p>70名のクラブもあり、地域の要望により更に超過しているところもある。1人1.65㎡とする基本的な面積があるので、超過する状況については解消が必要である。</p>
<p>清水小学校のあおぞらランドについて。スペースが非常に狭いと思う。早めの対応をお願いしたい。</p>	<p>あおぞらランドの面積から換算すると定数は40人となるが、登録児童は50名となっている。こうした問題は同施設だけでないので、市としてはニーズ調査結果を含め総合的に検討し優先順位をつけて対応を検討したい。</p> <p>また、国から一定の指針の中では40名程度が望ましいとの指針が出されたので最終的には40名を想定して整備していくことになると思う。</p>
児童センターの利活用、新設について	
<p>登録児童数は増えてきているが、延べ利用数は減ってきているが、要因分析などはあるか。</p>	<p>「働くお母さん」達が増加。留守家庭児童はどちらかといえば児童クラブの方に行き、働く家庭であっても留守家庭児童ではないと、児童センターへ行く方々が相対的に減ってきているのではないかと分析している。</p>
<p>留守家庭児童も多く、子育て中の家庭も保育園の終了後に未就学児と一緒に児童センターで遊ばせていることも増えている。その点では児童センターの利用者の数も増えているのではと思う。更に児童センターを利用してもらえればと考える。</p>	
<p>放課後子ども教室と児童センターとで一体になってやれるような施設があれば良いのでは。児童センターのようなところを作って放課後の子どもたちを受け入れるような仕組みが必要。</p>	<p>放課後子ども教室との連携は必要であり、その方向を探っていかなければならないと考える。新たな施設整備は優先順位を踏まえた整備が必要。</p>
広報について	
<p>児童クラブ・児童センターの違いを、入学時期に広報紙に掲載してもらえないか。</p>	<p>現在はHPを中心とした広報。現在ある施設の利用促進のための広報が必要であり、今後検討していきたい。</p>
<p>周知は出来るだけ早く行って欲しい。翌年度分の周知は年内に行ってほしい。3月ギリギリに周知しても遅く、どこのクラブも募集を締め切っている。</p>	<p>学校に行っている子どもには学校との連携によって周知できるかもしれないが、問題はこれから学校に行こうとする子どもと親であり、非常に心配だと思う。広報にも力を入れていく必要があると考える。</p>